



2000 年 9 月 22 日

ユニバーサル Web アクセスに向けての W3C 最近の活動
- モバイル Web アクセスと Web アクセシビリティを中心に -

要旨

W3C は、普遍的な Web アクセス (ユニバーサルアクセス)、セマンティク Web、信頼性の高い Web アクセスを実現するため活動を行っています。今回のプレス発表では、W3C/慶應で行っている普遍的な Web アクセスへの取り組みのなかで、モバイル機器からの Web アクセス技術と Web オーサリング、最近の W3C の活動について報告します。

普遍的な Web アクセスとは、ハードウェア、ソフトウェア、言語、文化などに依存することなく、すべての人が Web の利益を受けることができるようにするものです。W3C では、このために国際化、さまざまな機器からアクセス可能なシステムの実現、Web オーサリングガイドラインの作成などの活動を行っています。

モバイル Web アクセス

最近、Web は携帯電話に代表されるモバイル機器から多く利用されるようになりました。W3C では、ハードウェアやソフトウェアなどの制約がある携帯電話などに対して、機器に依存しないオーサリングを可能とするための技術開発を行っています。W3C/慶應においても、モバイル機器からの Web アクセスにも積極的に取り組んでいます。

この分野では、RDF と呼ばれる Web の文書の情報を記述するための技術を用いて、機器の情報を表現するための CC/PP の策定を行っています。CC/PP を活用することによって、機器に応じた Web コンテンツ表示の最適化などを行うことが可能となります。

携帯電話や中には、W3C が提案する HTML などと正しく処理できないものもあります。一般的にコンピュータで利用される規格と異なったものを利用している場合があります。W3C では、このような機器に対しても普遍的なアクセスを可能とするために、W3C の標準からこれらへの規格への変換のための技術である XSLT の開発も行っています。

さらに、WAP フォーラムとの協調関係を結び、携帯電話でのより一層の Web アクセス技術の開発を行っています。

W3C/慶應では、昨年度からこれらの技術を利用した次世代のモバイル用 Web ブラウザの研究開発も行っています。この研究開発では、独自に CC/PP、P3P、XSL と呼ばれる W3C で策定中の規格を独自に実装した Web ブラウザを実装し、その検証を進めています。本年度も継続して研究開発を行っています。

Web オーサリングガイドライン

普遍的な Web アクセスは、単に技術だけでできるものではありません。当然のことですが、Web オーサリングのためのガイドラインがあってはじめて可能になります。本を読みやすくするためのデザインのルールがあるのと同様に、全ての人があらゆる機械から普遍的にアクセス可能な Web ページを作成するには、何らかのデザインなどに関するガイドラインなしにはできません。また、ハンディキャップを持った人にもやさしい Web コンテンツ作成をするためには、共通のガイドラインも必要です。

W3C には、この作業を行うために WAI (Web Accessibility Initiative) があります。WAI では、単に携帯電話というわけではなく W3C の仕様の具体的な利用のルールを示し、あらゆる人がさまざまな機器からアクセス可能な Web オーサリングのためのガイドラインを提案しています。

今年の 10 月には、WAI の主催により Device Independent Authoring に関するワークショップも開かれます。皆様の参加をお待ちしています。

W3C の最近の活動から

W3C は、この9月から新しいXML プロトコルの標準化を行う活動 (アクティビティー) を始めました。このアクティビティーでは、SOAP に代表されるXML を利用した分散環境構築のための技術を中心に扱います。その他にもXML をベースとしたさまざまな標準案の策定、勧告などが行われております。

お知らせ

次回で第 10 回目となる、International Word Wide Web Conference が来年 5 月、香港で開催されます。W3C/慶應の担当者が委員として、この国際会議の運営に参加しております。日本からの多くの参加をお待ちしています。この会議の詳しいパンフレットは W3C/慶應のブースで配布しております。

本リリースに関するお問い合わせは：

W3C

Tel: 0466-49-1170

FAX: 0466-49-1171

E-mail: kaz@w3.org

keio-contact@w3.org

URL:

<http://www.w3.org/Consortium/Hosts/Keio/> (日本向け)

<http://www.w3.org>